



# 2020年度「連帯社会」連続講座

主催：公益社団法人 教育文化協会  
連帯社会研究交流センター

参加費無料  
要申込

「連帯社会研究交流センター」は、連合、教育文化協会、労働者福祉事業団体、生活協同組合が法政大学と連携して設立した修士課程大学院コース「連帯社会インスティテュート」（通称：連合大学院）の支援・連携組織として、連帯社会構築にむけてのさまざまな研究交流の機会を企画・実施しています。

このたび、「連帯社会」に関わる研究者の方々に問題提起をいただく連続講座を企画いたしました。第4回は、油田晃氏、井上 美葉子氏をお招きして、「コロナ禍における非営利の舞台芸術活動」について、ご講演いただくこととなりました。ご関心のある方々に広くご参加いただきますようお願い申し上げます。

なお、参加申し込み方法につきましては、連帯社会研究交流センター・ウェブサイト上で行なう方法をとらせていただきますので、「イベント・シンポジウム」<<http://recss.jp/event.html>>をご参照ください。

## 第4回：コロナ禍における非営利の舞台芸術活動 —国際芸術祭と小劇場の経験を中心にした考察

日時 2020年12月19日（土）15:00～16:40

場所 Zoom 開催

講師：油田 晃（NPO 法人パフォーミングアーツ  
ネットワークみえ 代表理事）  
井上 美葉子（KYOTO EXPERIMENT 京都国際舞台  
芸術祭事務局、ワークショップデザイ  
ナー、演劇制作者）

### プロフィール

・油田 晃（ゆだ・あきら）氏：特定非営利活動法人パフォーミングアーツネットワークみえ 代表理事  
1973年三重県松阪市生まれ。三重大学在学中から劇作・演出活動を始める。1995年三重大学OB・OG等を中心に劇団  
ゴルジ隊を旗揚げ、2006年、津市上浜町に津あけぼの座をオープン、2011年 特定非営利活動法人パフォーミングア  
ーツネットワークみえ代表理事に就任。舞台芸術を使って地域文化の振興を目指すほか、ワークショップデザイナーと  
して表現教育としての演劇づくりやコミュニケーションワークショップを行っている。

・井上 美葉子（いのうえ・みわこ）氏：京都国際舞台芸術祭事務局、ワークショップデザイナー、演劇制作者）  
6歳から16年間、アメリカのドラマ教育を基にした表現教育活動に参加。大学卒業後は、行政や企業等に勤めながら  
演劇活動に参加。2004年に大学院入学を機に演劇制作を専門に活動を始め、小劇場演劇や公共文化イベントの制作を担  
当、やなぎみわ、あごうさとし、ウォーリー木下、外輪能隆等の演劇作品に関わる。2007～11年、商業劇場サンケイホー  
ルプリーゼのリニューアルオープンの制作を担当。2015～19年、神戸学院大学グローバルコミュニケーション学部の特  
常勤講師。2015年より京都国際舞台芸術祭事務局スタッフ。

### プログラム

15:00～16:10 講演  
16:10～16:40 質疑応答

～お問い合わせ～  
連帯社会研究交流センター（ReCSS）  
e-mail: [info@recss.jp](mailto:info@recss.jp)  
URL: <http://recss.jp>